

コロナ支援 第4弾

やっぱり暮らし・生業応援優先を

日本共産党の西澤議員は30日、緊急要請書を提出し、野瀬町長と面談しました。政府の第2次補正予算で配分される地方創生臨時交付金は、従来の公共工事・施設建設ではなく税等の軽減、固定費用の補てんなど、暮らしへの直接支援こそ重要です。

緊急要請書

日頃より町政運営にご尽力いただき敬意を表します。

感染拡大が

止まらない

新型コロナウイルス感染症に関わる緊急事態宣言が解除されたとはいえ、東京・都市部を中心に感染拡大の勢いが終息したとは言いがたい状況が続いています。さらに世界の感染者数がアメリカ、ブラジルなどを筆頭に増え続け1千万人を突破したと報じられました。

グローバル化が進み、あらゆる国と地域との交流が盛んになっている国際社会において、油断すれば一気に国内に広がる恐れがあることを心しておかなければならないと思えます。同時に国際社会が感染克服のために連携して知恵と力を傾注しなければならぬと考えます。

経済効率最優先でいいのか？
コロナ後の社会さらには、コロナ禍で明らかになった検査・医療・経済・社会・政治の盲点とも言える問題を検証し、効率性」を最優先して医療・公衆衛生を削減してきた新自由主義など、コロナ後の社会・経済等のあり方を広く

国民（町民）と共に見直すいいチャンスでもあると考えます。私たちの身の回りでは、わずか3カ月ほどの間に暮らしと経営が大変厳しい状況に落ち込んでおられる方が多数おられるものと見えます。コロナ倒産」「コロナ解雇」「コロナ退学」との報道を目にします。

策定を急げ

甲良町議会6月定例会において、野瀬町長が新型コロナウイルス

ルス感染症に伴う住民支援対策第4弾の策定を進めると表明されました。政府の第2次補正予算において地方創生臨時交付金が2兆円上積みされたことにより滋賀県・甲良町への配分額が示されたことと存じます。

以上のことから以下の事項（左枠）を緊急に要請します。

- 1 消費税 10%、コロナ危機、年金改悪などによって町民の暮らし、営業は大変厳しい状況が続いています。町民のリアルな生の実態・声を町政に反映するため、町民に緊急アンケートを実施すること。
- 2 水道基本料金の免除を延長すること。
- 3 障がい者、非正規雇用の労働者、ひとり親家庭など、社会的・経済的弱者に対する支援策を新設および上乘せし拡充すること。
- 4 農業者（道の駅の出荷者を含む）への支援を上乘せし拡充すること。
- 5 税・保険料の減免の内、固定資産税、国保税、介護保険料を軽減すること（今後、納期到来する数回分を免除すること。固定資産税を一括して納付した方には免除の算定に応じて返金すること）。
- 6 子どもたちの学ぶ権利および健やかな「心・体」の成長を保障するため「文科省事務連絡」（2020年2月25日＝下段に注）に基づき設置者の自主的判断を貫くこと。
- 7 学校教育に関わる上記の方針を実践する少人数学級教育を徹底するための教員配置・予算を確保すること。
- 8 「コロナ」に伴う住民支援策第4弾を審議する全員協議会・臨時議会を招集すること。

以上

（注）「学校の中で生徒や教職員にコロナ感染者が出たら休校にして、地域の中で感染者が出て生徒や教職員の中に濃厚接触者がいた場合には、登校を控えてもらう」との考え方。（前川喜平氏による要旨より）

15日党創立98周年記念講演会オンライン配信



記念講演

日本共産党委員長

志位 和夫

日本共産党は7月15日に党創立98周年を迎えます。安倍・自民党政治に正面から対決し、コロナ危機で見えたものは何か、社会・経済・政治のあり方はどうあるべきか、みなさんといっしょに考えます。

15日（水）午後6時半
会場＝西澤議員宅にて

甲良民報

2020年7月5日 795号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】